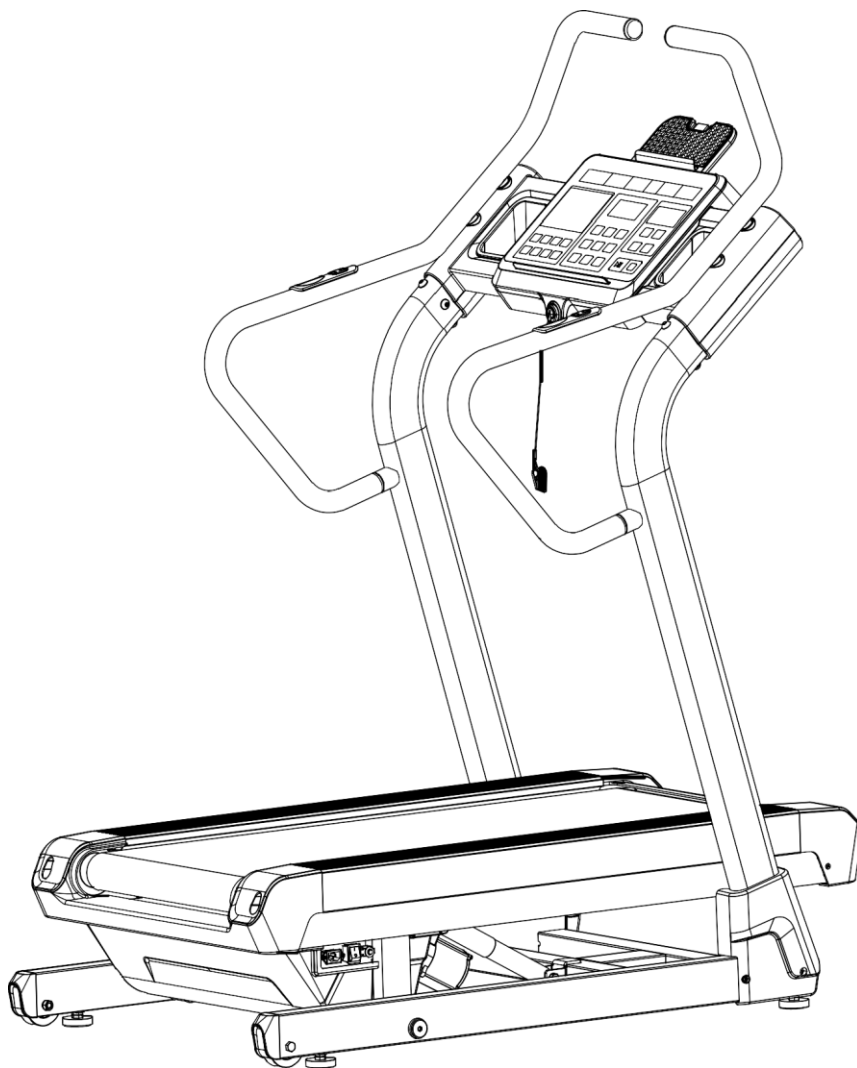




高傾斜 (High-Incline) トレッドミル DK-1346A (準業務用) 取扱説明書



この度は **高傾斜トレッドミル DK-1346A(準業務用)** をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ◎ まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

- ◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。
- ◎ 本機は準業務用です。介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備として、また家庭用として軽頻度の運動向けに設計しています。利用目的は保証内容に影響しますので、予め用途をご確認くださいようお願い申し上げます。
- ◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって２段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医師にご相談して下さい。
- 3) お子様が本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 4) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 5) 基本的には分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理をする際には販売店までご相談下さい。
- 6) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 7) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 8) 同時に２人以上でご使用なさないで下さい。

☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源はコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた手でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線（延長コード）を御使用の時。
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
 - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため 180 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注 意

☆使用上の注意事項

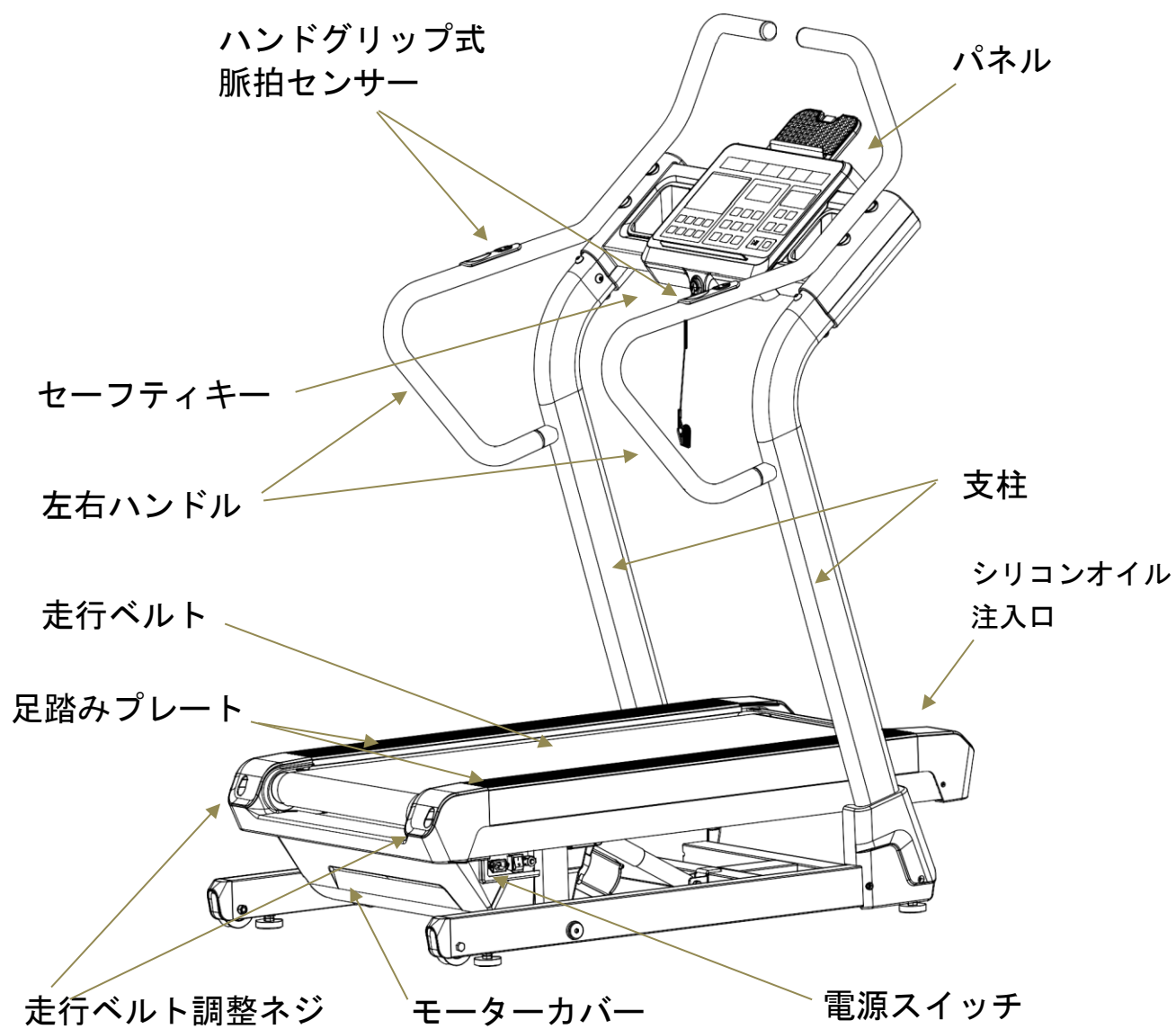
- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間以上あけてからトレーニングをして下さい。
- 3) 必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい。
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機用に作られています。一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となりますので、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が 135Kg 以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にし、特に幼児が触らない様注意して下さい。
- 9) ペット等にはご使用にならないでください。
- 10) 本製品は上りとくだりで傾斜がつきます。くだりの場合は前のめり、上りの場合高い傾斜のときの速度には充分気をつけてください。

☆設置・保管上の注意事項

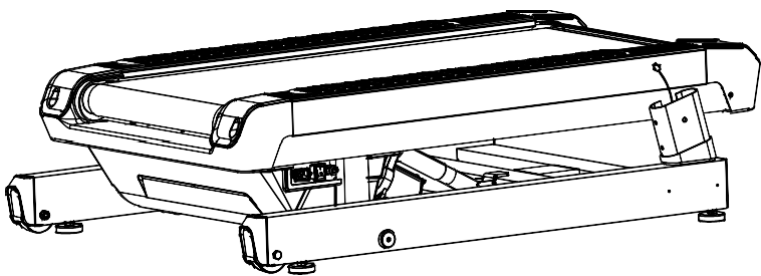
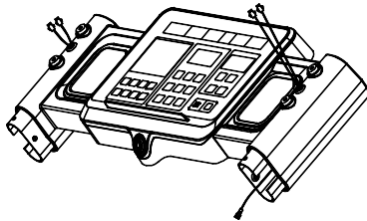
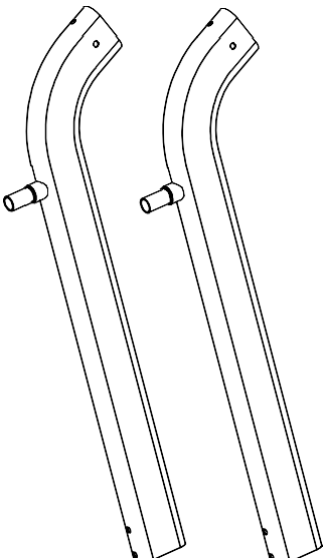
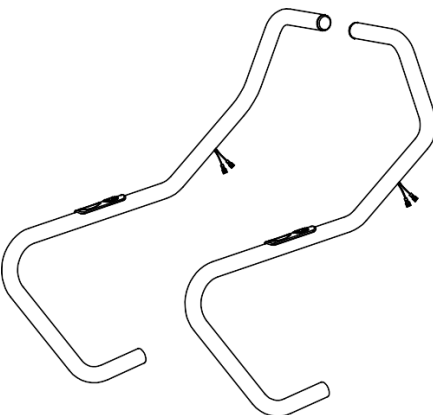
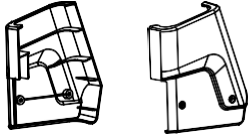
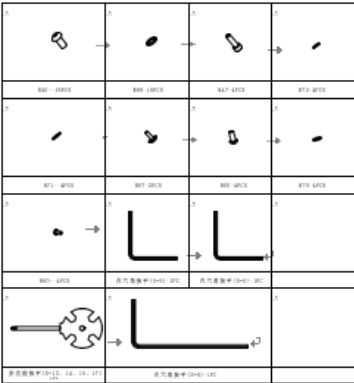
- サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・ 直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・ 屋外の設備（ガレージ・屋根付ガレージ等を含む）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・ 砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
 - ・ 室温が著しく変化する場所、床面がコンクリートの打ちっばなしの場所
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険ですので、必ず確認してからご使用ください。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等のプラスチック類の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 走行ベルトが偏ったときは走行ベルトの調節方法を参考に調整を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

製品仕様表

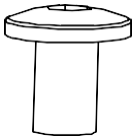
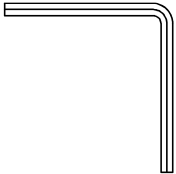
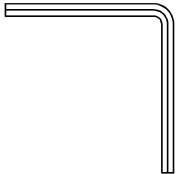
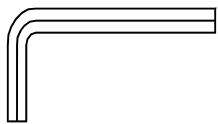
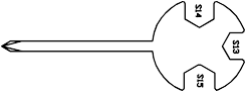
品名	高傾斜トレッドミル	材質・構造	スチールパイプ・合板ボード・ウレタン・ABS樹脂
品番	DK-1346A	本体サイズ	W83×L144×H173cm
電源	AC100V (50～60kHz)	モーター	ACモーター(平均1.5馬力)(最大3.5馬力)
本体重量	114kg	走行ベルト	W63×L112cm 厚み1.8mm(静電気防止)
傾斜方法	電動式 -5%～40% 45段階	速度	0.5～16km/h(傾斜に応じて)
電源コード	2.0m	脈拍計測	簡易ハンドグリップ式
生産国	中国		



パーツ図表

		
#2 本体 1PC		#4 パネル 1PC
		
#3L/R 左右支柱 各 1PC	#5L/R 左右ハンドル 各 1PC	#24L/R 左右支柱カバー 各 1PC
		
#26 タブレットホルダー 1PC	#17 ハンドル キャップ 4PCS	#82 電源コード 1PC
		
取扱説明書 1PC	ツールパック 1PC	

ツールパック詳細

			
#40 ボルトM10*20 16PCS	#69 ワッシャーφ10 16PCS	#47ボルト M8*35 4PCS	#72 バネワッシャーφ8 4PCS
			
#71 ワッシャーφ8 4PCS	#57ネジM5*12 2PCS	#50ボルトM8*15 2PCS	#70 ワッシャーφ8*1.2 2PCS
			
#60ネジ ST4*16 4PCS	S5L形レンチ 1PC	6L形レンチ 1PC	S6 170*70mm L 形レンチ 1PC
			
S13, S14, S15, S17 スパナ 1PC			

組立説明

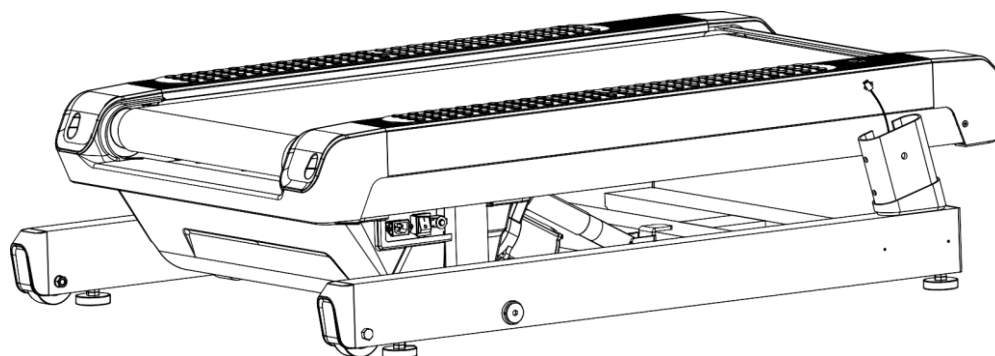
組立を始める前のご注意

- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 組み立てる前に、電源コードを接続しないでください。
- ※ 本機を箱から出す場合、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。横倒しにしますと本体と脚部フレームが開くことがありますので、ご注意ください。
- ※ 組立時、ステップごとのボルトをすべて仮止めにし、組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。（都度に本締めしてしまいますと組立ができないことがあります。）

組立方法

ステップ I

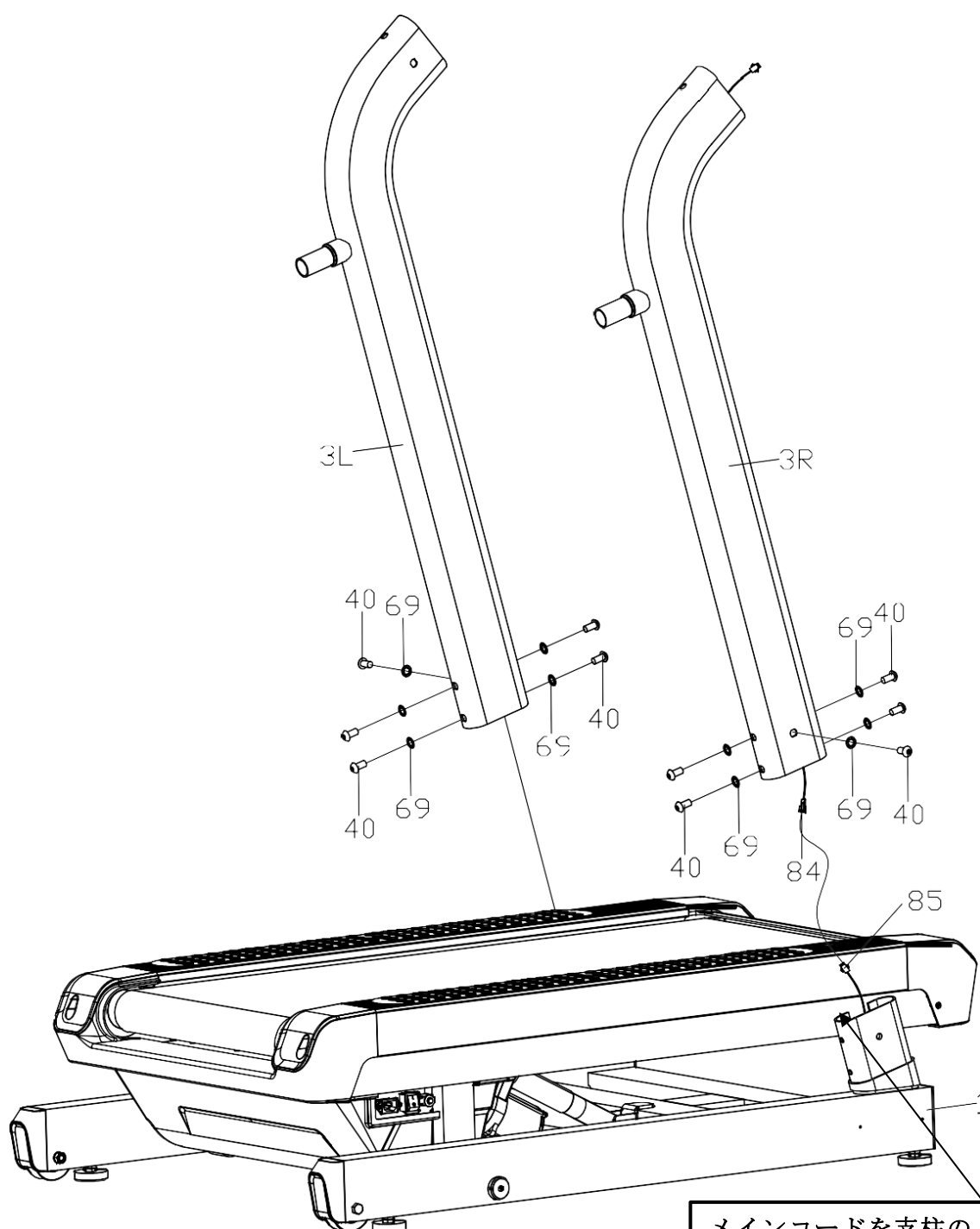
本体を箱から出して、平らな地面に設置してください。



本体

ステップⅡ

本体から出ているメインコード（85）と右支柱内のメインコード（84）を
本体下部付近で接続し、その後 M8×65*20 4 本のボルト（40）とワッシャーで
左右支柱（3L/R）を本体（1）に仮止めにて固定します
（メインコードを挟まないようにご注意ください）。

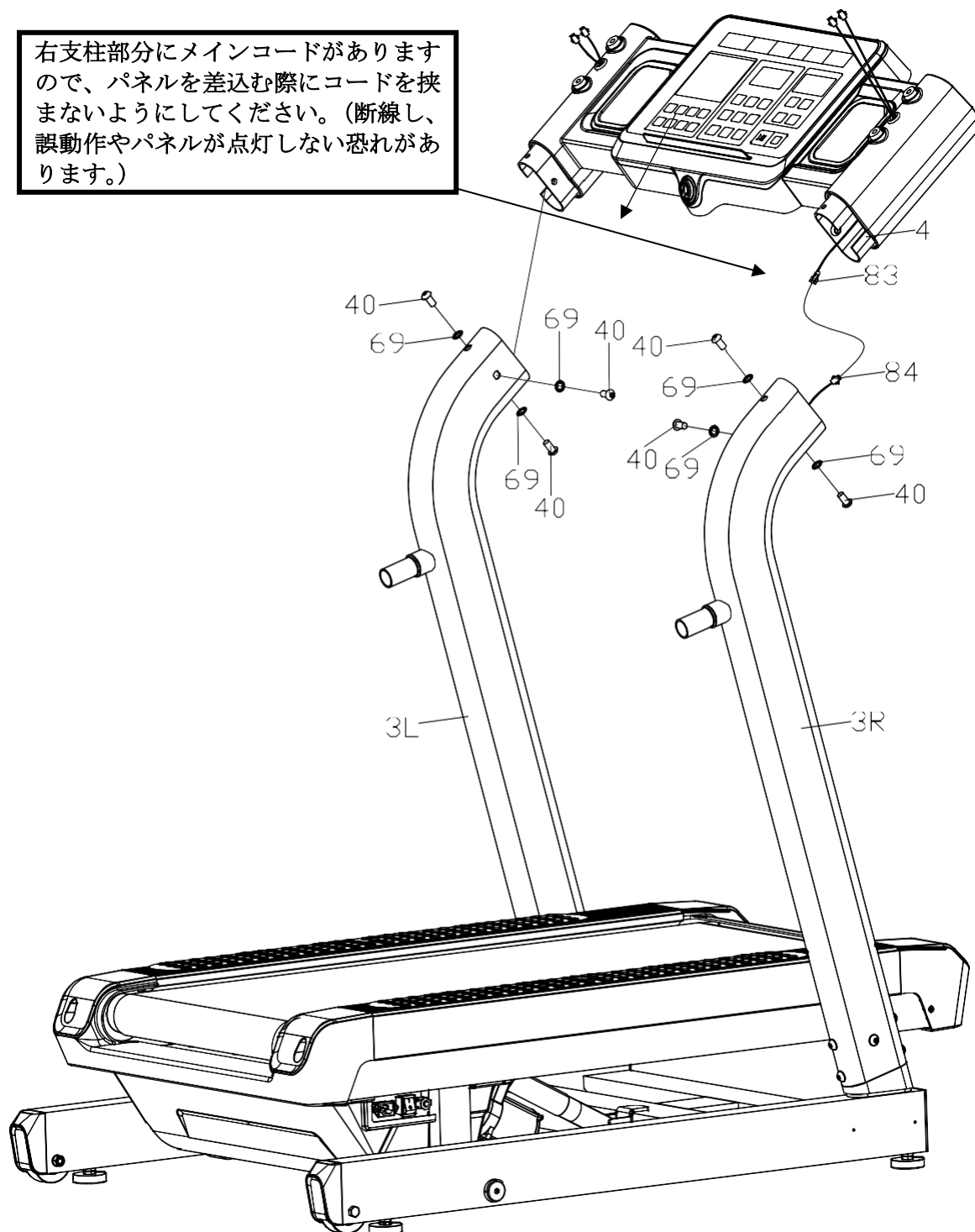


メインコードを支柱の
中に押し込み、挟まない
ように 支柱を一旦仮
止めにします。

ステップⅢ

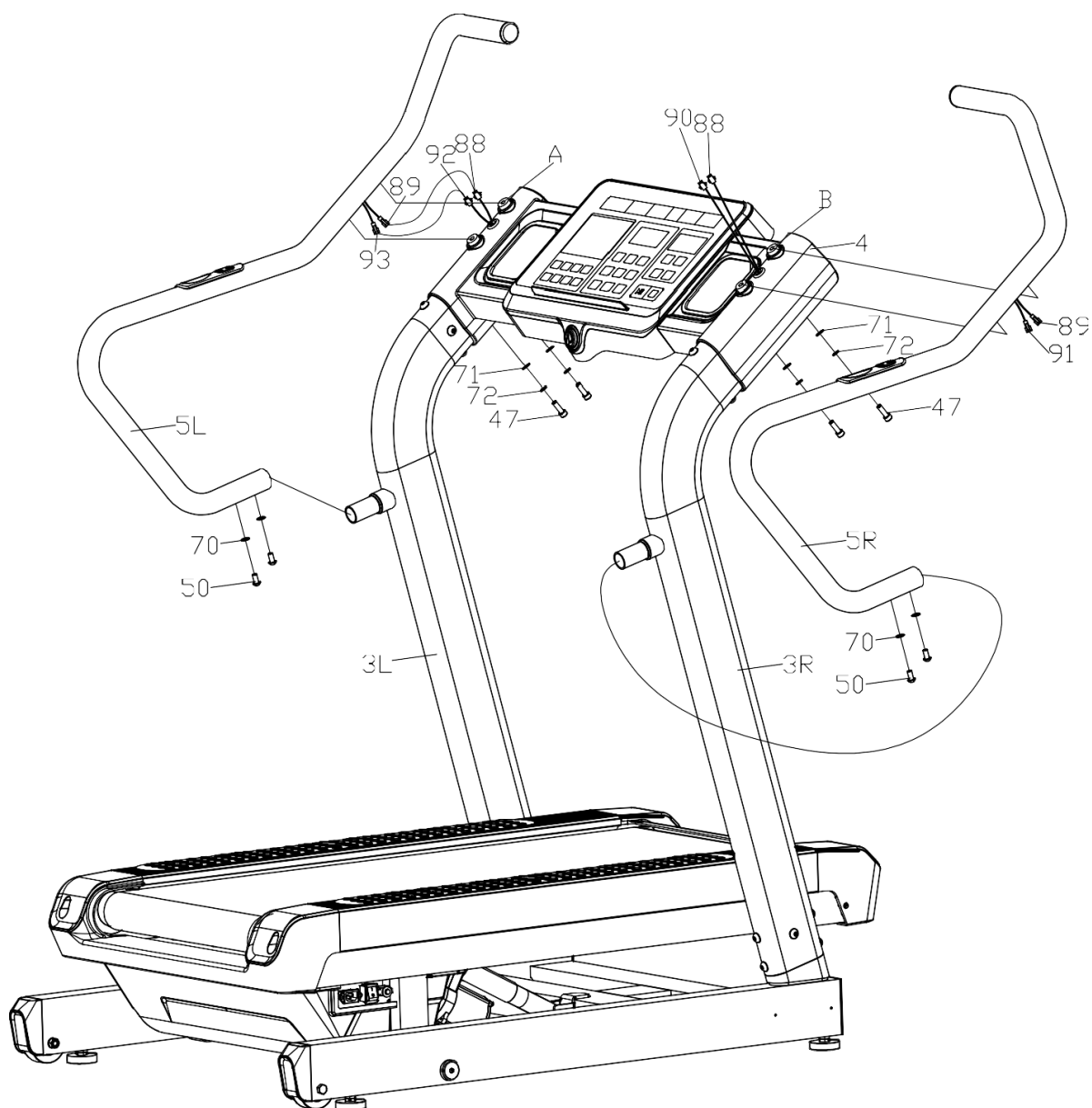
1. 右側支柱から出ているメインコード (84) とパネルから出ているメインコード (83) を接続します。
2. メインコード支柱内に収め、その後パネルを左右支柱に差し込み、 M8*15 ボルト (40) とワッシャー (69) でパネル (4) を固定します。(メインコードを挟まないようにご注意ください)。

右支柱部分にメインコードがありますので、パネルを差込む際にコードを挟まないようにしてください。(断線し、誤動作やパネルが点灯しない恐れがあります。)



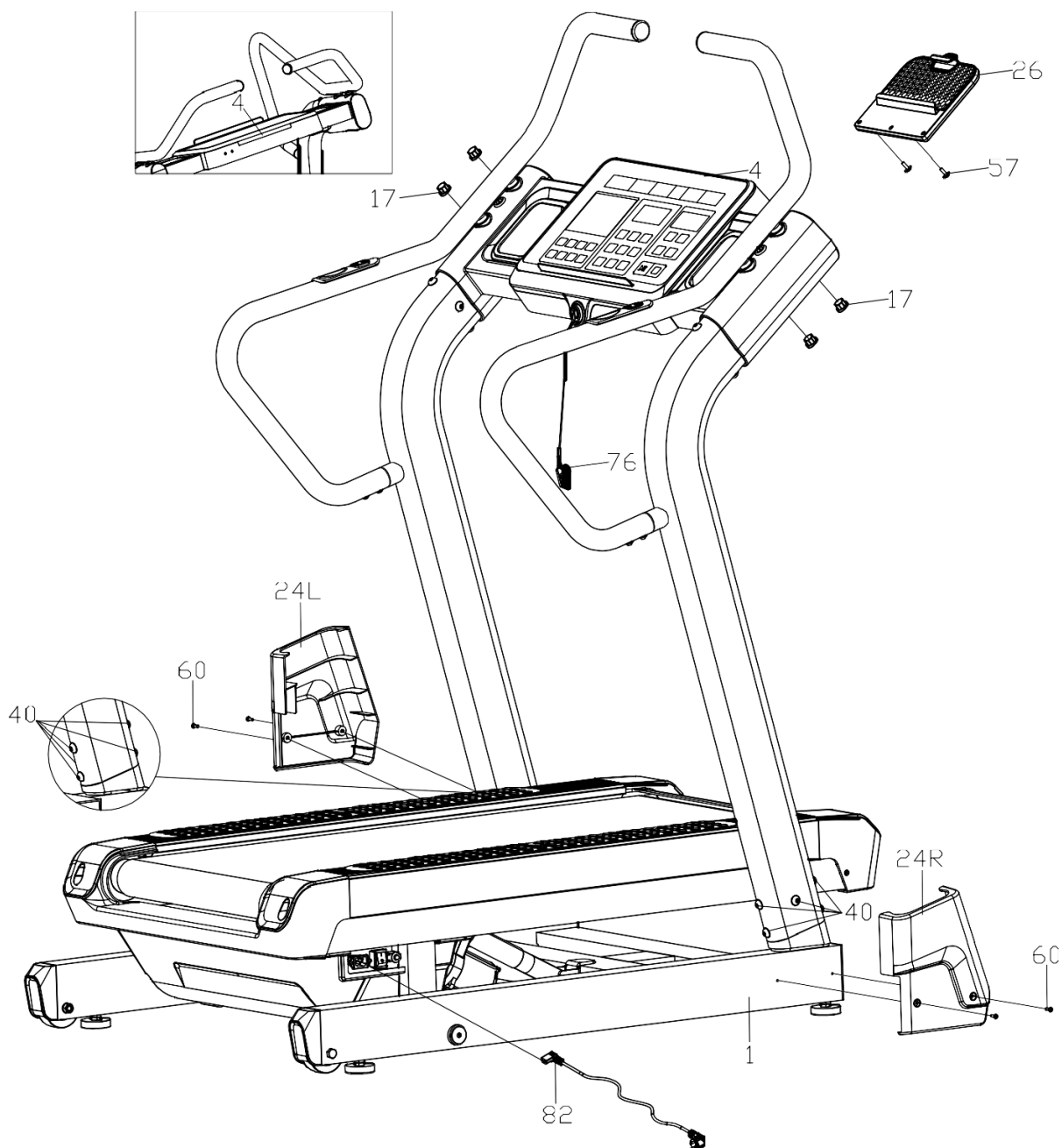
ステップⅣ

1. 左右ハンドル (5L/R) を左右支柱に差し込みます。
2. ハンドグリップ心拍数の上線 (88) をハンドグリップ心拍数の下線 (89) に速度の上線 (90) を速度の下線 (91) に、インクラインの上線 (92) をインクラインの下線 (93) に接続し、ワイヤコネクタをパネルフレームジョイントの穴に順番に入れます。
3. 左右ハンドル (5L/R) をパネル (4) に当て、左右ハンドル (5L/R) の穴をパネルフレーム (4) の穴 A と B に合わせて、次に、ボルト (47)、スプリングワッシャー (72)、平ワッシャー (71) を使用して、左右ハンドル (5L/R) をパネル (4) に固定します。
4. ボルト (50)、ワッシャー (70) を使用して、左右ハンドル (5L/R) の下部を左右支柱 (3L/R) に固定します。

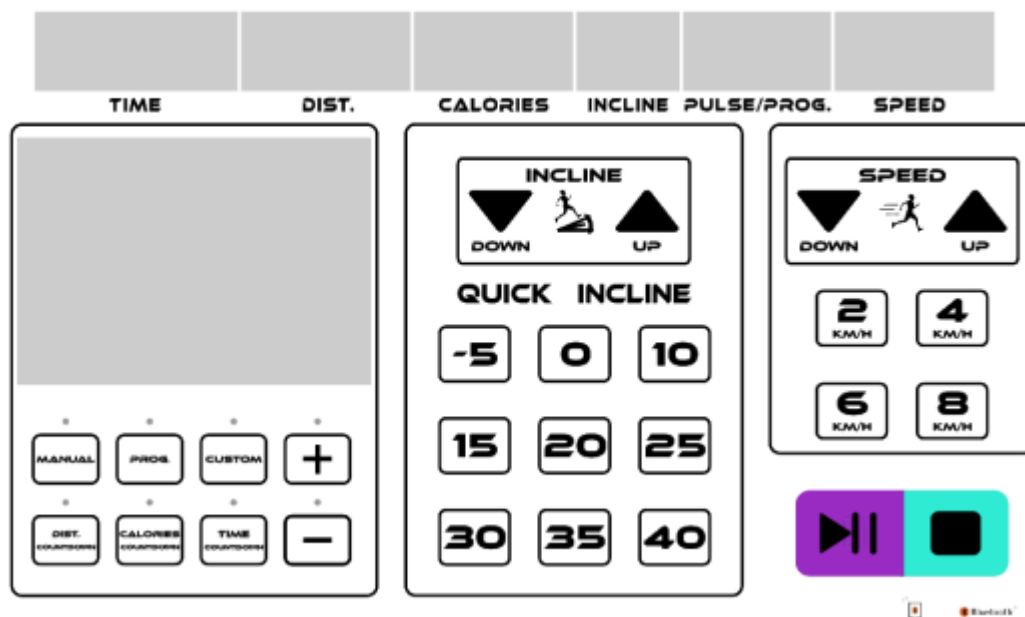


ステップV :

1. 全て仮止めのボルト (40) を締めます。
2. まず、タブレットホルダー (26) をパネル (4) に差し込んで、次にネジ (57) を使用して IPAD
ホルダー (26) をパネル (4) に固定します。
3. ネジ (60) を使用して、左右支柱カバー (24L/R) を本体 (1) に固定します。
4. ハンドル穴プラグ (17) をパネルフレーム (4) に入れて、セーフティーキー (76) をパネル (4)
に付けます。
5. 電源コード (82) を本体に挿し込みます。



操作パネルの使用方法



●表示の説明

LED ウィンドウには次の機能が表示されます：

- A. パターン表示ウィンドウ：スタンバイモードのとき、または時間、距離、カロリーの 3 つのカウントダウンモードを選択しているとき、プログラムを選択しているときは、速度のドットマトリックスグラフが表示されます。脂肪測定モードのとき、およびエラーが発生すると、対応する英語のプロンプトメッセージが表示されます。運転中は、コースとラップ数、または速度上昇のドットマトリックス図が表示されます。
- B. 時間：経過時間を表示します、表示範囲：0：00-99：59。
- C. 距離：運動距離を累積して表示します、表示範囲：0.00-99.9。
- D. カロリー：運動中に消費したカロリー表示します、表示範囲：0.0-999。
- E. 角度：傾斜角度を表示します、表示範囲：-5-40 段階。
- F. 心拍数/プログラム：現在の脈拍/選択のプログラムを表示します。
- G. スピード：運動中の速度を表示します、表示範囲：0.0-16.0KMH。

●ボタンの説明

- A. マニュアル：手動モードボタン。
- B. プログラム：プログラムの選択（P01-P12）。
- C. カスタム：ユーザープログラムの選択（U01-U02-U03）。
- D. 距離カウントダウン：目標距離プログラムの選択。
- E. カロリーカウントダウン：目標カロリープログラムの選択。
- F. 時間カウントダウン：目標時間プログラムの選択。
- G. スタート/一時停止(▶)：運動を開始するとき、一時停止をするときに押します。
- H. ストップ(■)：：停止/リセットを行います。停止する。
- I. スピード「アップ」ボタン：走行ベルトの速度アップを調整します。目標数値等を入力します。
- J. スピード「ダウン」ボタン：走行ベルトの速度ダウンを調整します。目標数値等を入力します。
- K. 角度「アップ」ボタン：本体の角度アップを調整します。目標数値を入力します。

- L. 角度「ダウン」ボタン：本体の角度ダウンを調整します。目標数値を入力します。
- M. 速度ワンタッチボタン：作動中に 2, 4, 6, 8 数字をタッチすることにより数字の速度に変化します。
- N. 角度ワンタッチボタン：作動中に-5、0、10、15、20、25、30、35、40 数字をタッチすることにより 数字の傾斜に変化します。

* スタンバイモードで、スピードの「アップ」と「ダウン」ボタンを 3 秒間押し続けると、総走行距離表示に入ります。チェック状態で、「ストップ」ボタンを 3 秒間押し続けると、総走行距離がクリアされます。

* スタンバイモードで、角度「アップ」と「ダウン」ボタンを 3 秒間押し続けて、スローセルフテストに入ります。

●セーフティキーの説明

セーフティキー セーフティキーは衣服に付けて使用します。運動中についていけない場合や足をとられた場合、セーフティキーが外れ、ベルトが自動的に止まるように設定されています。

起動方法 （※運動をする際には必ず運動靴を履いて行ってください。）

1. 本機を安全確保し、運動できる状態にして下さい。
2. 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
3. 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
4. 電源スイッチを入れて下さい。
5. ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある凹部に重なるようにセーフティキーを置いて下さい。
6. セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。（スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れる事により、ベルトが自動的に止まり、全ての動作が停止します。）セーフティキーが外れると警告が鳴ります。
7. 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。

終了方法

1. 目標運動もしくは運動を終了する場合、まず安全に左右足踏みプレートに乗って下さい。
 2. ストップボタンを押して、ベルトを停止させて下さい。
（セーフティキーを抜いて停止させないで下さい。故障の原因になります。）
 3. 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
* 電源を入れた状態で放置いたしますと、故障の原因になります。
- 運動終了後は速やかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

運動をはじめるには・・・

※必ず足踏みプレートに足を乗せてからスタートボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してからベルトに足を乗せて運動を始めてください。

●すぐに運動を行いたい方の操作方法

1. 電源をオンにします。
2. (スタート/ストップ) ボタンを押すと約 3 秒間カウントダウンされ、その後、0.5 km/h の速度で動き出します。
※走行ベルトが動きだしたのを確認してから運動を始めてください。

＜運動中の調整＞

速度を調整するには・・・パネル「スピード」の「+」「-」を押すか、速度ワンタッチボタンで調整して下さい。

角度を調整するには・・・パネル「角度」の「↑」「↓」を押すか、角度ワンタッチボタンで調整して下さい。

3. 運動を終了するときには (スタート/ストップ) ボタンを押して終了して下さい。

●プログラムの設定

目標（時間・距離・カロリー）を設定するプログラムと内蔵プログラム P 1 ～ P 12 を選択することが出来ます。

○ 目標時間設定プログラム

目標時間を設定することが出来ます。

※設定によっては、最大使用時間（180 分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守して下さい。

1. 時間カウントダウンを押して、[時間]液晶に（30：00）が点滅されます。
2. パネルのスピード上下ボタン、あるいは、角度上下ボタンを押して、数値を増減させ、目標時間を入力して下さい。
3. スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
4. 目標時間の設定範囲は 5：00（5 分）～99：00 となっています。
※ 尚、設定時間は 1 分単位での設定となり秒単位では設定出来ません。

○ 目標距離設定プログラム

1. 距離カウントダウンを押して、[距離]液晶に（1：00）が点滅されます。
2. パネルのスピード上下ボタン或いは角度上下ボタンを押して、数値を増減させ、目標距離を入力して下さい。
3. スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
4. 目標距離の設定範囲は 0：50～99：9 となっています。
※ 尚、設定距離は 0.1 km単位での設定となります。

○ 目標カロリー設定プログラム

1. カロリーカウントダウンを押して、[カロリー]液晶に（50：0）が点滅されます。
2. パネルのスピード上下ボタン或いは角度上下ボタンを押して、数値を増減させ、目標カロリーを入力して下さい。
3. スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
4. 目標カロリーの設定範囲は 10：0～999 となっています。
※ 尚、設定カロリーは 1Kcalー単位での設定となります。

各目標設定がゼロになったとき、ブザーから「ビビビ」という音が鳴り、速度がゆっくりと低下して、約 5 秒後にスタンバイ状態に戻り、ベルトが止まります。

●速度・傾斜自動変化プログラム入力方法

○ P1～P12 プログラム設定方法

本機には 12 の自動変化プログラムがあり、プログラムボタンを押し、P1～P12 プログラムを選択することができます。

1. 初期時間設定は 30 分です、時間設定範囲は 5:00 ～ 99:00 です。パネルのスピード上下ボタン或いは角度上下ボタンを押して、時間数値を増減させ、目標時間を入力してください。
2. スタートボタンを押すと、ベルトが動き出します。速度が自動プログラムの最初のセクションに示されている速度までゆっくりと上昇します（詳細についてはプログラム値表を参照）。
3. 速度アップ・ダウンボタンを押して、速度を調整できます。
4. 角度アップ・ダウンボタンを押して、角度を調整できます。
5. 速度ワンタッチボタンを押すと、ボタンで示された速度をすばやく設定します。
6. 角度ワンタッチボタンを押すと、ボタンで示された傾斜がすばやく設定されます。
7. 各プログラムは 20 の段階に分かれており、各段階の実行時間は設定時間の 1/20 です。
8. 設定時間がゼロになると、速度がゆっくりと低下して、ブザーから「ビビビ」という音が鳴り、ベルトが止まり、スタンバイ状態に戻ります。

※ プログラム使用中には、スピード・傾斜の自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようくれぐれもご注意ください。

(スピード及び角度の変化状況は下図の通りとなっております。)

時間 プログラム		設定時間/20=各段階の実行時間																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
P01	速度	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	5	3	3	1
	角度	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2
P02	速度	2	3	3	3	3	4	4	5	5	5	4	4	5	5	5	4	4	5	3	2
	角度	0	1	2	3	4	5	4	5	4	2	1	2	3	2	1	1	2	3	3	2
P03	速度	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	5	5	6	6	6	5	5	5	4	3
	角度	0	2	2	4	4	4	6	6	6	7	7	8	8	8	8	6	6	6	4	3
P04	速度	2	3	3	4	5	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	5	5	5	4	4
	角度	1	1	2	2	4	4	5	5	5	6	6	6	8	8	10	10	8	6	6	3
P05	速度	2	5	5	5	6	6	6	8	7	7	6	5	4	3	3	3	5	5	4	4
	角度	0	2	8	8	8	9	9	10	10	12	12	12	14	14	14	13	13	12	10	6
P06	速度	2	6	6	6	7	7	7	7	6	6	8	8	7	7	6	6	5	5	6	4
	角度	0	8	10	14	16	18	20	22	24	25	25	22	20	18	17	16	15	15	12	3
P07	速度	2	3	3	5	3	3	7	7	6	6	5	5	4	8	8	8	6	6	5	3
	角度	0	8	12	13	13	13	15	15	15	16	16	18	18	20	20	22	22	23	20	5
P08	速度	2	4	6	6	6	5	8	8	6	7	7	5	5	5	5	8	7	7	6	6
	角度	2	2	6	6	8	7	9	12	12	14	16	20	22	22	18	18	18	15	15	5
P09	速度	1	2	2	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3	4	4	3	3	3	2	1
	角度	24	25	26	28	29	25	26	28	29	25	26	28	29	25	26	25	26	25	25	0
P10	速度	1	2	3	3	3	4	4	5	5	4	4	3	3	3	2	3	3	2	2	1
	角度	24	28	25	25	28	25	28	25	28	28	25	25	28	27	24	28	30	32	34	0
P11	速度	1	2	3	4	5	3	4	5	3	4	5	4	3	4	4	3	3	2	2	1
	角度	20	22	24	26	28	30	26	28	24	26	28	30	30	32	34	36	34	34	32	0
P12	速度	1	2	2	3	3	4	4	3	3	2	3	2	3	3	3	2	2	3	2	1
	角度	20	22	24	24	26	26	28	28	30	30	28	26	24	22	20	22	24	26	25	0

●ユーザー（U01～U03）プログラム

本機には、12 の内蔵プログラムに加えて、ユーザーが個人の状況に応じて設定できる 3 つのユーザープログラム（U01、U02、U03）もあります。

a)設定方法：

スタンバイモードで、カスタムを押して、プログラム（U01 ～ U03）を選択します、「カスタム」ボタンを 3 秒間押し続けて、設定に入ります。その後、速度アップとダウンボタンまたは速度ワンタッチボタンを使用して速度を設定します。角度アップとダウンボタンまたは速度ワンタッチボタンを押して角度を設定し、「カスタム」ボタンを押して、第一段階の設定を完了し、第二段階の設定状態に入り、20 の段階がすべて完了するまで設定を行ってください。設定が完了するとデータは長期に保存されます、このデータは停電等によって失われることはありません。

b)使用方法：

- i. スタンバイモードで、「プログラム」ボタンを押し、（U01-U03）を選択します。

実行時間を設定した後、スタートボタンを押して開始します。

c) 設定説明：

各プログラムは運動時間を 20 の時間帯に分割します。設定時には、スタートボタンを押してトレッドミルを起動する前に、20 時間段階すべての速度、傾斜、走行時間の設定を完了する必要があります。

データ設定と表示範囲：

	初期	設定初期値	設定範囲	表示範囲
時間(分:秒)	0:00	30:00	5:00-99:00	0:00-99:59
速度(KMH)	0.0	0.5	0.5-16.0	0.0－16.0
角度(段階)	0	0	-5-40	-5-40
距離(k m)	0.00	1.00	0.50－99.9	0.00－99.9
カロリー-(Kcal)	0.0	50.0	10.0－999	0.0－999

省電力モード：

本機には省電力機能があります。スタンバイモードでは、10 分以内にキー入力がない場合、システムは省電力モードに入り、自動的にディスプレイをオフにします。任意のキーを押すと、システムが再び起動します。

<トラブルがおきたら>

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

エラーコード	意味	内容（対策）
E01	基板通信障害（基板信号が受信されない）	各接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）可能性。 基板、パネルの故障も考えられます。
E03	電圧関係	不足電圧か過電流が生じている。 モーター、モーター基板の不具合の可能性。
E04	ハードウェア過電流保護	モーター故障とモーター基板が故障している可能性。
E05	過負荷	1.電流が定格負荷を超え、システムが自己保護。 電源再起動する。 2.走行ベルトの滑りが悪く、モーターが回転不能、 負荷が重すぎ、電流が過大、システムが自己保護。 走行ベルトの調整、シリコンスプレーを噴霧する。 3.モーター交換。 4.基板交換。
E06～E10	基板不具合と故障	各接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）可能性。基板、パネルの故障も考えられます。基板交換。
E07	通信障害	接続不良・断線等の可能性がある。 パネル故障。
E12	インクライン関係故障	インクラインモーター、基板の故障の可能性。
E14	モーターエラー	モーター接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）可能性。 モーター故障の可能性。

<使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は**180分**までです。

2. つぎに使用するときには、一定の時間をおいてからご使用ください。

（30分まで連続使用⇒5分以上、31～180分は使用時間の1/4分以上機械を休ませる。）

※スイッチが入っている間は使用しているのと同じ状態ですので、ご使用になっていない時は必ずスイッチを切っておいてください。

※シリコンスプレーを定期的に使用することも忘れずに！（潤滑剤補充の項参照）

保守・運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合にはベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

※注意：ベルト調整をする場合、3～5 km/h の速度でベルトを回しながら、調整を行って下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損する恐れがありますので、慎重に調整を行ってください。

＜使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう＞

1. 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
3. 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいないかを確認して下さい。
4. まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが持ち上がらない・走行ベルトの張りすぎ（縦に指2本程度入らない）場合＞

1. 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
3. ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
4. まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

1. ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
2. 右調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。）

3. ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
4. まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

1. ベルトを回し、速度を3～5km/hまで上げて下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

（調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。）

3. ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
4. まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルト調整の注意点＞

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

ベルト左調整ボルト

時計回りに回すとベルトが
右へ移動。
反時計回りに回すとベルト
が左へ移動。

ベルト右調整ボルト

時計回りに回すとベルトが
左へ移動。
反時計回りに回すとベルト
が右に移動。



(イメージ図)

足踏みプレートからのシリコンオイル注入法

本製品の走行板（走行ベルト下の板）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されています。走行ベルトと走行板の摩擦は本製品の機能と寿命に大きな影響を与えるため定期的なシリコンオイル注入が必要となります。以下のスケジュールでのメンテナンスをお勧めします。

- 軽頻度での使用（週 3 時間未満）の場合：年に 1 回
- 中頻度での使用（週 3～5 時間）の場合：6 ヶ月ごと
- 高頻度での使用（週 5 時間以上）の場合：3 ヶ月ごと

シリコンオイルの 1 回あたりの使用量は 15～20ml です。

注意：シリコンオイルの注入が完了したら、シリコンオイルが走行ベルトに均等に分散されるように、機械を 8km/h の速度で 10 分間運転してください。



移動方法

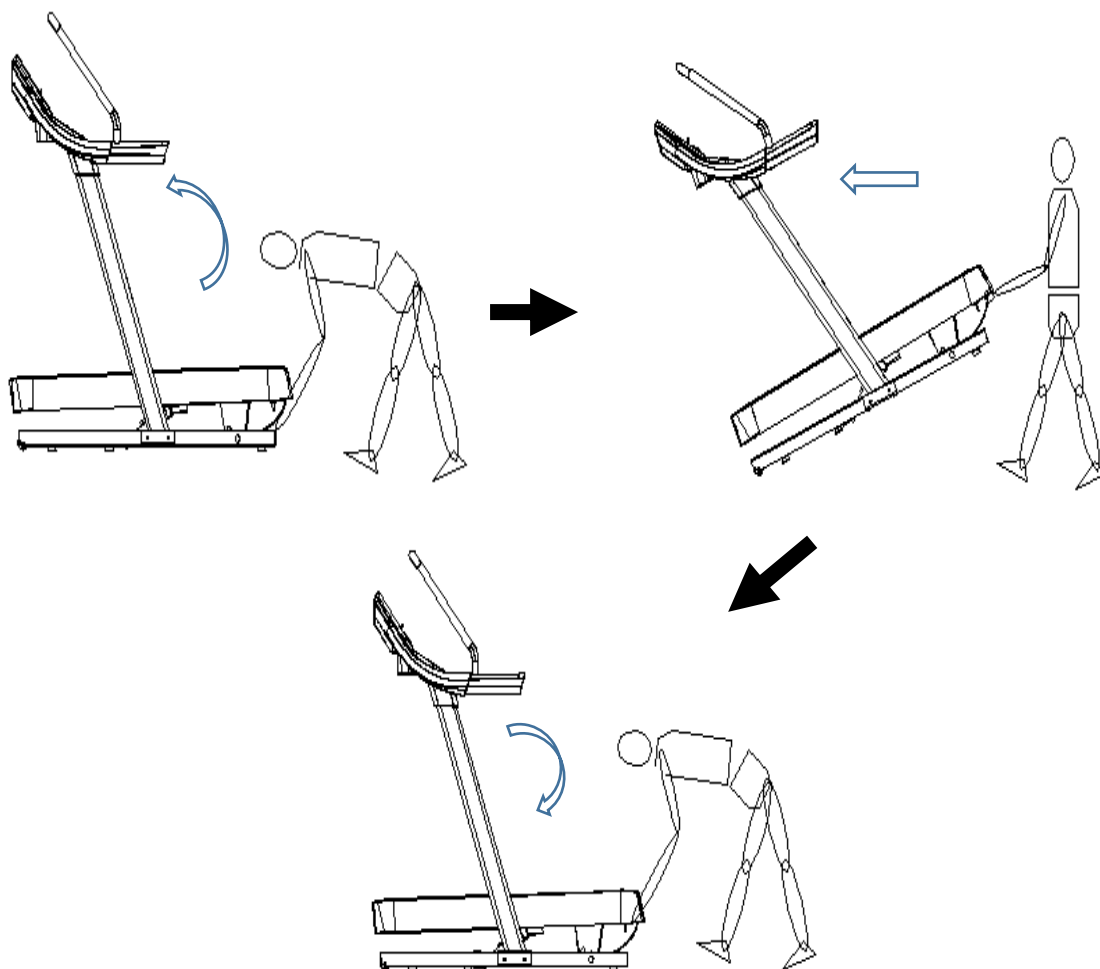
本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物が周りがないことを確認してから行って下さい。

本機は重量がありますので、床に傷がつくことがございます。

移動の際には敷物等をご用意下さい。

※体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをおすすめいたします。

- 1：傾斜を“0”まで下げて、走行面を水平の状態にしてください。
- 2：電源を切ってください。
- 3：電源コードをコンセントから抜いてください。
- 4：両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて、機台を前後移動することができます。



保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品 名	DK-1346A 準業務用 高傾斜トレッドミル
保 証 期 間	お買い上より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 名 前	
ご 住 所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買い上げ販売店・輸入販売元にご依頼ください。
その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷・ペット（動物）等を使用した場合
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公、塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 準業務用以外に使用や、ペット、家畜等を使用した場合は無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換することが可能です。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと場合、無効になります。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票や販売日等わかる書類がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社

(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 （平日AM10：00～12：00PM1：00～5：00）土・日・祝日休み